

2025 年 12 月

グラフで見る和歌山県経済指標

和歌山県経済は、総じて弱さが見られる

内閣府の月例経済報告（2025 年 12 月 19 日公表）において、「景気は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復している」との判断が維持された。個別項目では、「公共投資」、「輸入」において基調判断が引き下げられた。

以下では、「全国の情勢」、「和歌山県の情勢」を主要経済指標（主に 11 月の値）に基づき報告する。

全国の情勢

① 需要動向に関して、「個人消費」「輸出」「輸入」「設備投資」「住宅建設」について、判断が維持された。「公共投資」については、公共工事の発注が一服しているとして、「底堅く推移している」に下方修正された。

② 企業活動に関して、「業況判断」「生産」「倒産件数」「企業収益」に関する判断が維持された。

③ 雇用情勢に関しては、「改善の動きがみられる」との判断が維持された。

④ 物価に関して、「消費者物価」「国内企業物価」についての判断が維持された。

⑤ 世界経済に関しては、「世界の景気は、一部の地域において足踏みがみられるものの、緩やかな持ち直しが続いている。ただし、米国の関税率引上げに伴う不透明感が続いている」との判断が維持された。

和歌山県の情勢

① 個人消費面では、百貨店・スーパー販売額（11 月）は、前年同月比 1.2%増となり、5 か月ぶりに前年を上回った。近鉄百貨店和歌山店の販売額（11 月）が前年同月比 1.4%増となり、スーパー販売額の増加率はそれを下回る水準となっている。

新車販売台数（軽自動車[乗用]含む、11 月）は、前年同月比 8.8%減となり、5 か月連続で前年を下回った。登録車、軽乗用車ともに前年を下回っている。車両価格の上昇や物価全体の上昇を受けて、消費者が高額商品である新車購入に慎重になっている可能性が考えられる。

新設住宅着工戸数（11 月）は、前年同月比 17.9%減（2 か月連続で前年を下回る）。1 月～11 月の累計着工戸数は 3,053 戸であり、前年同時期比では 421 戸減少しており、直近 10 年間では最も少なくなっている（最も多かったのは 2019 年で 4,820 戸）。内閣府「月例経済報告」によると、住宅建設は「弱含んで」おり、持家及び分譲住宅が弱含んでいる。先行きについては当面弱含みで推移することが見込まれるとしている。

② 企業活動面では、鉱工業生産指数（10 月）は、98.2 となっており、前月比で 2.5 ポイント下降した。2023 年 10 月に ENEOS 和歌山製油所が操業を停止したことで、石油・石炭製品工業の生産指数が極めて低い水準にある。ただし、化学工業や食料品工業の生産指数は高い水準で推移している。その一方で、主力業種である鉄鋼業が低調で、県内製造業の生産状況は「一進一退」の状況にある。

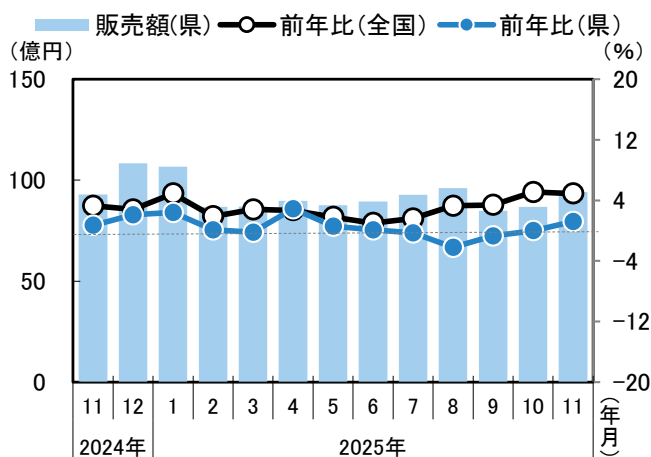
公共工事請負金額（11 月）は、前年同月比 24.6%減となり、4 か月連続で前年を下回っ

た。なお、4月～11月累計での請負金額は、前年同期比1.0%減となっている。内閣府「月例経済報告」によると、国内の公共投資は「底堅く推移」している。

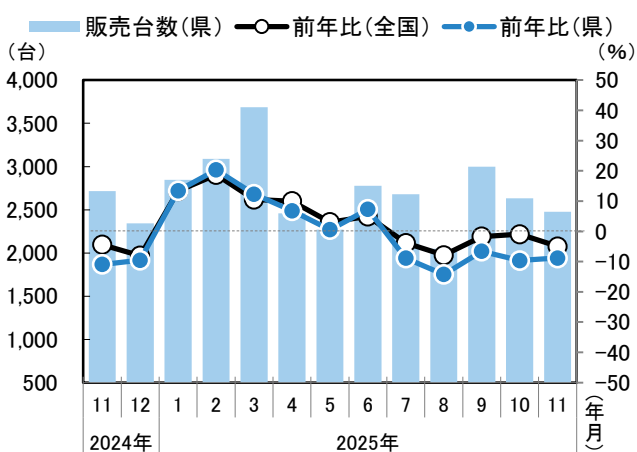
帝国データバンクが発表している「県内 TDB 景気 DI (11 月)」は、41.6 と前月から 0.8 ポイント上昇した(2 か月ぶりに改善)。和歌山県の値は全国と近畿の値を下回った。帝国データバンクによると、「企業の収益動向も価格転嫁により売上は前年並みや増収を確保するものの、仕入高や人件費の上昇により、『増収減益』にとどまる企業が多い」としており、県内景気 DI は当面は引き続き一進一退の動向が続く可能性が高いとコメントしている。

③ 雇用面については、「有効求人倍率(11 月)」は、前月から 0.02 ポイント低下し、1.03 となった。有効求人倍率が 1.03 以下を示すのは、2021 年 2 月(1.01)以来、4 年 9 か月ぶり。有効求人数が 4 か月連続で減少する中、有効求職者数は増加傾向にあり、4 年 4 か月ぶりの高水準となっている。新規求人数については、製造業、宿泊業・飲食サービス業で減少傾向が見られるが、11 月単月では全産業の新規求人数が前月比 24.2%増となっている。このような状況について、和歌山労働局では、「雇用情勢は、求人が求職を上回る状況が続いているが、持ち直しの動きに弱さがみられる。引き続き、物価上昇等が雇用にも与える影響に注意する必要がある」としている。

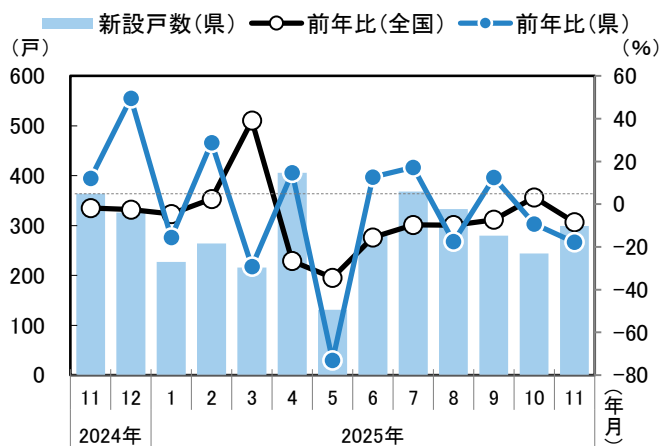
百貨店・スーパー販売額



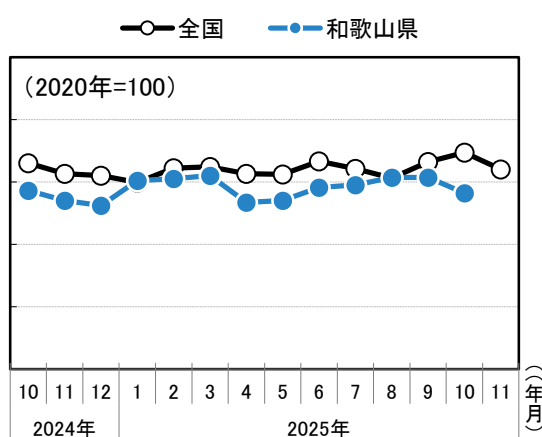
新車(登録車+軽自動車)販売台数

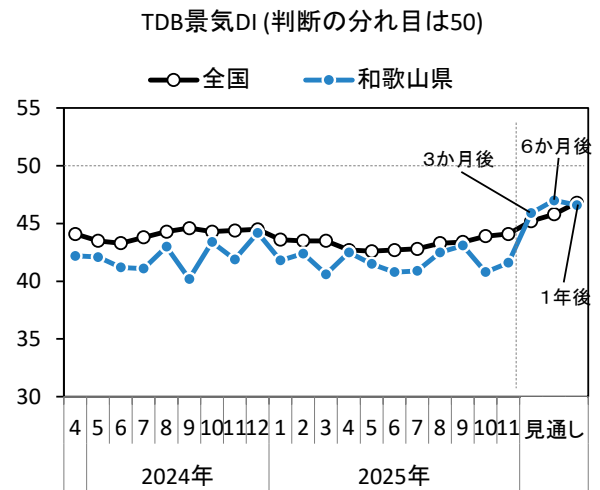
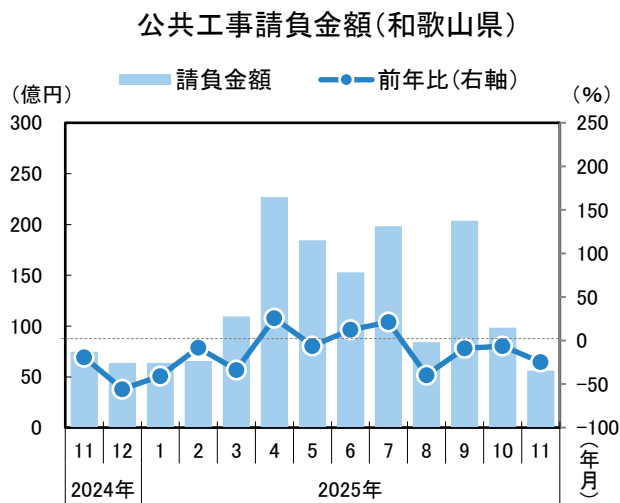
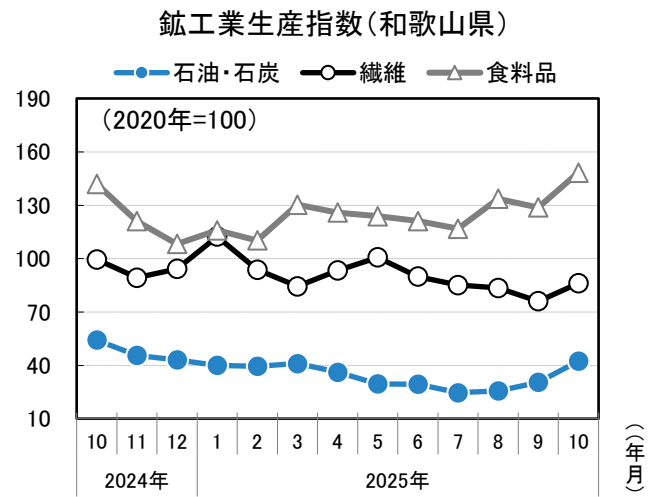
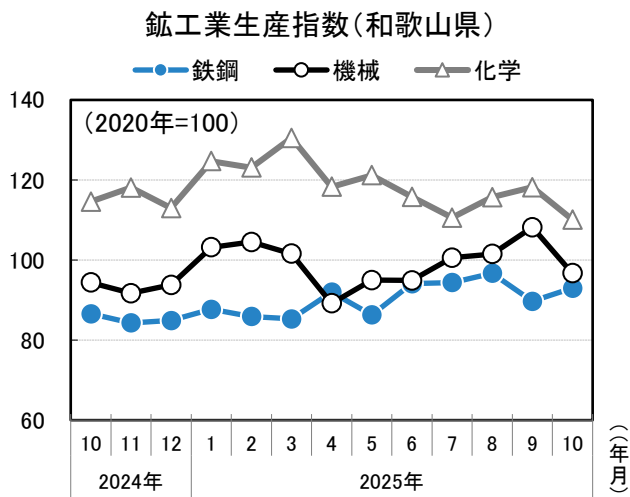


新設住宅着工戸数

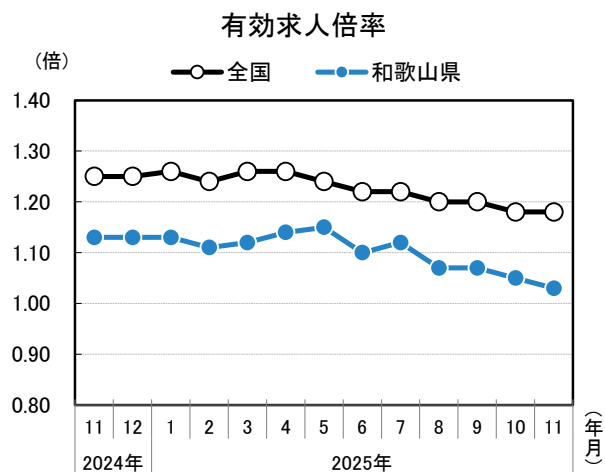


鉱工業生産指数





(資料)株式会社データバンク



(1)個人消費面

	百貨店・スーパー販売額			新車販売台数(*登録+軽)			新設住宅着工戸数		
	販売額 (億円)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	販売台数 (台)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	着工戸数 (戸)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)
2019年	1,188	-1.1	-1.9	38,733	-1.6	-0.6	5,188	-4.0	5.1
2020年	1,133	-5.4	-5.4	33,942	-11.6	-12.4	4,514	-9.9	-13.0
2021年	1,093	0.9	-3.7	32,416	-3.3	-4.5	4,591	5.0	1.7
2022年	1,090	3.8	-0.3	30,549	-7.0	-5.8	4,758	0.4	3.6
2023年	1,106	4.6	1.5	20,583	18.4	19.0	3,958	-4.6	-16.8
2024年10月	86.9	-0.6	-1.8	2,915	0.7	-0.9	269	-2.9	-39.7
11月	92.9	3.3	0.7	2,717	-4.4	-10.9	364	-1.8	12.0
12月	108.5	2.8	2.1	2,342	-8.0	-9.5	326	-2.5	49.5
2025年1月	106.7	4.9	2.4	2,847	13.3	13.4	227	-4.6	-15.6
2月	86.8	1.9	0.1	3,087	18.7	20.3	264	2.4	28.8
3月	87.0	2.8	-0.2	3,687	10.5	12.3	216	39.1	-29.2
4月	89.7	2.7	2.9	2,458	10.0	6.8	406	-26.6	14.7
5月	87.6	1.8	0.6	2,269	3.1	0.6	131	-34.4	-73.2
6月	89.5	1.0	0.1	2,779	5.0	7.3	285	-15.6	12.6
7月	92.8	1.6	-0.3	2,679	-3.8	-8.9	368	-9.7	17.2
8月	96.1	3.3	-2.2	2,049	-7.9	-14.3	333	-9.8	-17.6
9月	84.9	3.4	-0.7	2,999	-1.7	-6.6	280	-7.3	12.4
10月	86.9	5.1	0.0	2,634	-1.0	-9.6	244	3.2	-9.3
11月	94.0	4.9	1.2	2,478	-5.0	-8.8	299	-8.5	-17.9

(2025年1月5日に取得可能な資料より作成)

(2)企業活動面

	鉱工業生産指数(2020年=100)								公共工事請負額		TDB 景気DI
	全国	和歌山県	鉄鋼	機械	化学	石油石炭	繊維	食料品	請負金額 (億円)	和歌山県 (前年比)	
2019年	111.6	102.7	110.3	100.8	100.5	95.4	106.6	138.0	1,585.1	6.6	
2020年	100.0	88.9	81.3	85.0	92.6	76.5	105.0	119.5	1,847.2	16.5	
2021年	105.4	88.4	78.1	89.9	85.6	68.6	101.8	139.8	1,806.3	-2.2	
2022年	105.3	97.2	83.9	98.2	95.8	110.6	104.6	142.8	1,584.1	-12.3	
2023年	103.9	89.8	78.3	92.0	91.2	86.8	104.0	139.4	1,711.6	8.0	
2024年10月	103.0	98.6	86.6	94.4	114.6	54.3	99.6	142.1	104.9	-1.5	43.4
11月	101.3	97.0	84.3	91.7	118.1	45.7	89.3	121.1	74.7	-19.0	41.9
12月	101.0	96.2	84.9	93.8	113.0	43.2	94.3	108.3	63.8	-55.7	44.2
2025年1月	99.9	100.2	87.7	103.2	124.7	40.1	112.5	116.0	63.9	-40.7	41.8
2月	102.2	100.5	85.9	104.5	123.1	39.6	93.8	110.3	65.7	-8.1	42.4
3月	102.4	101.0	85.3	101.6	130.5	41.1	84.5	130.4	109.4	-33.6	40.6
4月	101.3	96.7	92.0	89.2	118.3	36.2	93.4	126.0	226.9	25.8	42.5
5月	101.2	97.0	86.3	95.0	121.2	29.7	100.8	123.9	184.3	-6.0	41.5
6月	103.3	99.1	94.1	94.9	115.8	29.5	90.0	121.2	153.1	12.6	40.8
7月	102.1	99.5	94.4	100.6	110.6	24.7	85.2	116.9	198.3	21.4	40.9
8月	100.6	100.7	96.7	101.5	115.7	25.7	83.6	133.7	84.4	-39.5	42.5
9月	103.2	100.7	89.7	108.2	118.2	30.6	76.1	128.8	203.7	-8.7	43.1
10月	104.7	98.2	93.0	96.7	110.1	42.4	86.2	148.4	98.4	-6.2	40.8
11月	102.0								56.3	-24.6	41.6

(注)鉱工業生産指数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(2025年1月5日に取得可能な資料より作成)

(3)雇用面

	有効求人倍率		有効 求人数 (人)	有効 求職者数 (人)	充足率	
	全国 (倍)	和歌山県 (倍)			パートタイム 除く(%)	パートタイム (%)
2019年	1.60	1.41	17,920	12,699	17.6	17.1
2020年	1.18	1.05	15,107	14,373	16.2	18.8
2021年	1.13	1.09	16,195	14,876	15.2	18.2
2022年	1.28	1.15	16,977	14,777	14.8	16.8
2023年	1.31	1.13	16,340	14,409	14.7	18.2
2024年10月	1.25	1.12	16,265	14,532	14.5	16.4
11月	1.25	1.13	16,439	14,607	13.2	17.0
12月	1.25	1.13	16,484	14,619	12.0	14.7
2025年1月	1.26	1.13	16,565	14,600	10.2	13.5
2月	1.24	1.11	16,292	14,683	12.3	18.3
3月	1.26	1.12	16,274	14,492	18.4	22.5
4月	1.26	1.14	16,192	14,194	15.0	20.2
5月	1.24	1.15	16,502	14,298	12.0	20.9
6月	1.22	1.10	16,150	14,635	15.6	19.5
7月	1.22	1.12	16,209	14,495	12.3	19.2
8月	1.20	1.07	15,803	14,790	12.9	16.4
9月	1.20	1.07	15,723	14,704	12.8	18.0
10月	1.18	1.05	15,412	14,696	14.0	18.7
11月	1.18	1.03	15,382	14,967	10.8	18.3

(2025年1月5日に取得可能な資料より作成)

(注1)有効求人倍率、有効求人数、有効求職者数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(注2)「充足率」とは、事業者が希望通りの人員数を確保できるかどうかを数値で表したものであり、数値が低いほど、人材の確保が難しい。